

6 城跡周辺地区地区計画ゾーン



現況

城跡公園周辺においては、城跡公園地区計画により、低層戸建て住宅を中心とした緑豊かで落ち着いた、良好な住宅地が形成されています。

◀城跡公園周辺の住宅地



▲城跡公園



▲水辺公園

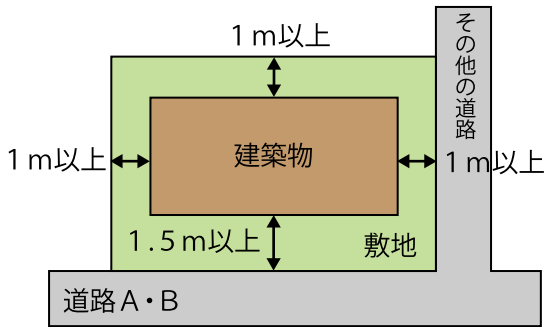
目 標

- 城跡周辺地区地区計画（まちづくりのルール）に基づく建築物等の誘導
- 建築物の用途の指定，敷地面積の最低限度，建ぺい率・容積率の最高限度
- 建築物の壁面の位置の指定，建築物の高さの上限
- 建築物の形態（勾配屋根）や外壁の色彩（落ち着いた色彩）など意匠の制限
- 広告・看板等の制限・誘導
- 生垣・板塀・竹垣・築地塀など，垣・柵の構造の制限，敷地内緑化の推進
- 安全で快適な生活道路の空間などの創出
- 案内表示などサインの充実・統一 など

建築物

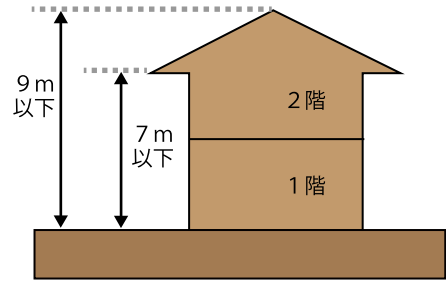
■ 壁面の位置【ゆとりの空間確保】

○道路境界線から一定限後退させましょう。



▲壁面の位置が定められています。例) お屋敷ゾーン

■ 建築物の高さ【低層中心の良好な景観】



原則的に2階以下で、最高の高さが9m以下、軒の高さが7m以下です。

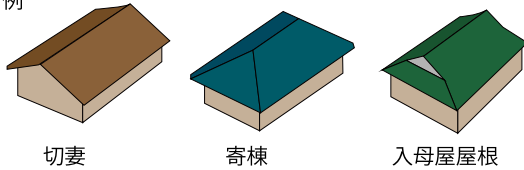
▲建築物の高さの上限が定められています。
(※第1種住居地域の建築物の最高の高さは10m以下)

■ 屋根の形態【歴史・文化景観との調和】

○屋根は勾配屋根とし、周辺の歴史的な景観と調和するデザインに努めましょう。

形態：勾配屋根

例



切妻

寄棟

入母屋屋根

※外堀沿いゾーン・玉日ゾーンの第一種住居地域は、勾配屋根でなくても構いません。

▲城跡公園と調和した街並みを保全するため、屋根は勾配屋根に定められています。
(※本丸ゾーンは黒・茶・深緑を基調)

■ 外壁及び屋根の色彩

【落ち着いた色彩のある市街地景観の形成】

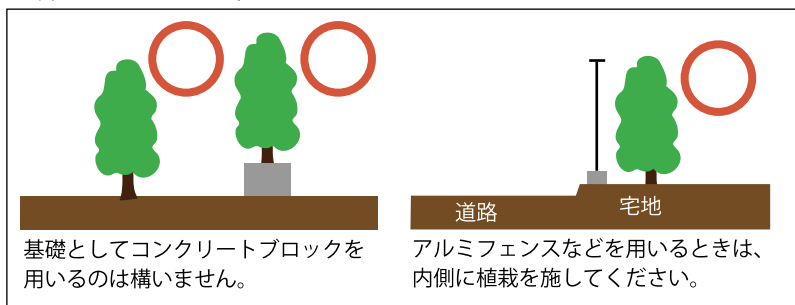
○原則として、落ち着いた色彩として、できる限り低彩度となるよう努めましょう。



工作物

■ 垣・柵の高さ・形態等【歴史・文化景観との調和】

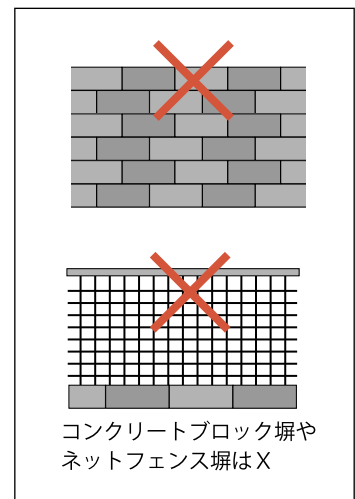
○道路に面した部分は、生垣・板塀・竹垣・築地塀など自然素材とし、コンクリート・ブロック塀・ネットフェンスは設置できません。



基礎としてコンクリートブロックを用いるのは構いません。

アルミフェンスなどを用いるときは、内側に植栽を施してください。

▲道路に面した部分は、生垣・板塀・竹垣・築地塀など自然素材とし、コンクリート・ブロック塀・ネットフェンス塀以外。(高さは1.5m位)
※アルミフェンスなどを用いるときは、内側に植栽を施す。



コンクリートブロック塀やネットフェンス塀はX

7 工業地ゾーン

市街化区域

市街化調整区域



現況

市内には、産業拠点となる結城第一工業団地，西繁昌塚工業団地，才光寺農工団地が整備されており，多様な業種の企業が立地しています。

これらの工業団地では，街路樹や敷地内の緑化などにより，比較的周辺環境への景観的な配慮がなされています。

◀ 結城第一工業団地（市街化区域）

▼ 才光寺農工団地（市街化調整区域）



▲ 西繁昌塚工業団地（市街化調整区域）



▲ 結城第一工業団地（市街化区域）

目
標

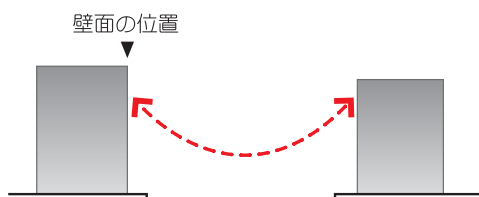
- 建築物等の位置や高さなど，ゆとりある空間形成への配慮
- 圧迫感の少ない建築物の形態やや色彩など質の高いデザインの誘導
- 沿道緑化や生垣など敷地内緑化の推進
- 広告・看板等の制限・誘導，景観を阻害しているものの整序 など

建築物

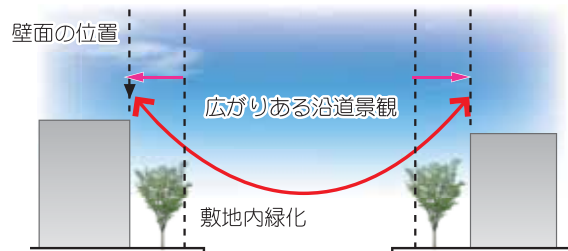
■ 壁面の後退【広がりのある沿道景観の形成】

○道路境界線から一定限後退させましょう。

(約1m程度)



▲道路近くに建物が建ち並ぶと、壁面による圧迫感や沿道景観の広がりを感じられなくなってしまいます。



▲できる限り壁面の位置を後退させ、広がりある沿道景観を確保するとともに、後退した空間には積極的な緑化修景を図りましょう。

■ 形態意匠【落ち着いた工業地景観の形成】

○原則として、奇抜な形態は避け、隣接する建築物同士の形態的調和に努めましょう。



▲壁面の分節化で圧迫感を緩和し、周辺との調和を図った建築物の例

■ 外壁及び屋根の色彩

○原則として、原色を避け、できる限り低彩度となるよう努めましょう。



▲親しみやすく快適性やクリーンなイメージをデザインした建築物の例

工作物

■ 垣・柵【田園集落・自然景観との調和】

○生垣やデザイン性に配慮した透過性のあるフェンス等としましょう。



▲沿道敷地内の積極的な緑化を図った例

その他

■ 敷地内空地の緑化【ゆとりある景観形成】

○敷地規模に余裕のある場合は、できる限り敷地内の緑化に努めましょう。



▲敷地内の空地や法面、擁壁などの緑化や除草などの維持管理に努めましょう。

8 低地田園集落ゾーン

現況

鬼怒川・田川と西仁連川など、河川沿いの低地には田園地帯が広がっており、田植え期や収穫期など、季節によって景観に変化を与えています。

また、田園地帯には、農地や平地林、背後の屋敷林と一体となった集落地が形成されています。

これらの集落地は、自然的素材が多く、また色調にも統一感があることから、落ち着いた景観を形成しています。

▼鬼怒川沿いの水田



▼谷津田の斜面林が連なる田園集落



▲ 田園と筑波山の眺望
山川沼排水路沿いの水田と田園集落▶



目標

- 水田など優良農地の保全，河川・水路など自然環境の保全
- 平地林や屋敷林・社寺林，谷津状の斜面林など緑地の維持・保全
- 周辺の自然・田園集落景観と調和した建築物の意匠や色彩等の誘導
- 生垣など敷地内緑化や沿道緑化の推進，集落のまちなみの連続性の確保
- 広告・看板等の制限・誘導，景観を阻害しているものの整序
- 筑波山を眺望できる景観の保全 など

9 台地田園集落ゾーン

▼屋敷林に囲まれた田園集落

現況

台地上には、畑地が集落や平地林とともに広がっており、雄大な景観が形成されています。

また、まとまりや連続性のある平地林が残っているほか、地形の起伏に合わせた斜面林が連なっており、貴重な緑の自然景観を形成しています。

その他、これらの畑地・平地林や、背後の屋敷林と一体となった集落地が形成されており、古代からの歴史や、自然と共存した営みを感じさせる景観を形成しています。



市街化調整区域



▶ 周辺と調和した落ち着いたある田園景観



▲ 生垣や石垣など連続性のある集落景観



▲ 緑豊かな平地林

目標

- 畑地など優良農地の保全，寺社や古墳など歴史的資源の保全
- 平地林や屋敷林・社寺林，谷津状の斜面林など緑地の維持・保全
- 周辺の自然・田園集落景観と調和した建築物の意匠や色彩等の誘導
- 生垣など敷地内緑化や沿道緑化の推進，集落のまちなみの連続性の確保
- 広告・看板等の制限・誘導，景観を阻害しているものの整序
- 市街地縁辺部における住宅，商業，工業等が共存・調和した景観形成など

建築物

■ 位置・配置【田園の広がりや河川空間との調和・まちなみの連続性の配慮】

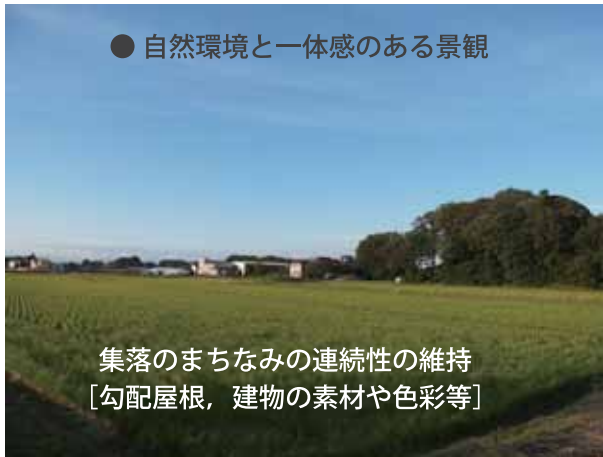
○田園景観や河川，平地林等との緑との調和，集落のまちなみの連続性に配慮しましょう。



▲地形や自然条件により形成された自然田園空間の基本構成を尊重しましょう。



▲筑波山（結城筑波）を望む美しい景観づくりに配慮しましょう。



▲周辺環境に配慮した，田園・自然環境になじむ，デザインや色彩により良好な空間を創出しましょう。



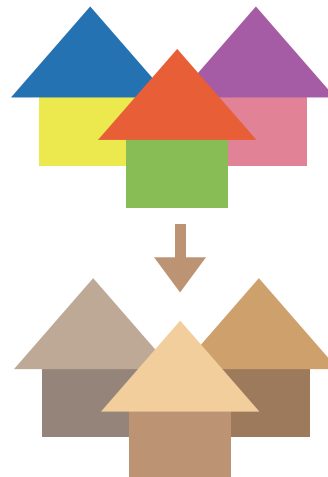
▲農地，建物，生垣，屋敷林等が一体となったゆとりある敷地利用を尊重しましょう。

■ 外壁及び屋根の色彩【落ち着いた色のある田園集落景観の形成】

○原則として，原色や蛍光色，パステルカラーを避け，周辺の自然環境や田園集落景観に調和させるため，できる限り低明度・低彩度となるよう努めましょう。



▲建物の外壁等に用いる色彩は，原色やパステルカラーは避けましょう。



彩度の高い建物は，個々が主張しすぎ，全体でまとまりがありません。

彩度を抑え色調を同調させると，個々に違う色でも全体で調和します。

工 作 物

■ 垣・柵【落ち着いたある田園集落景観との調和】

○できる限りブロック塀の設置は避け、生垣・石垣・板塀・竹垣やデザイン性に配慮した透過性のあるフェンス等としましょう。



生垣によるまちなみの連続性

▲生垣や沿道緑化，敷地内緑化等によるまちなみの連続性に配慮しましょう。



門・塀・蔵などの道路沿いのまちなみ【堀囲いの民家等】

▲門・塀など昔ながらの美しい集落景観づくりに配慮しましょう。

屋外広告物

■ 色 彩
【自然・田園集落景観との調和】

○できる限り，彩度の高い色彩を大きな面積で用いることは避けましょう。



▲屋外広告物は，自然・田園景観を損ねない落ち着いたデザインにしましょう。（景観になじみやすい素材，低彩度の色彩を基調に，必要最小限の数量・大きさとする）

そ の 他

■ 地域特性や歴史・文化資源の保全・活用
【田園景観や集落のまちなみとの一体感】

○田園集落の地域特性を大切にし、周辺の景観やまちなみの連続性に配慮しましょう。



地域資源・シンボルの保全・活用

▲地域に親しまれてきた貴重な歴史・文化的資源（寺社，史跡，巨木等）を保全・継承し，景観づくりに活かしましょう。

河川軸

現況

鬼怒川や田川、西仁連川などの河川は、本市の自然環境の骨格となる「水と緑の景観軸」を形成しています。

また、周辺の田園地帯や河川敷の視界の広がりがある特徴的な眺望は、原風景となる川辺の景観を形成しています。



▲河川軸（鬼怒川）

目標

- 河川等の自然環境の保全
- 河岸の緑の保全・育成
- 自然と調和した護岸整備
- 緑道の維持管理・環境整備
- 橋梁の魅力化
- 水とふれあうことのできる水辺空間（親水性）の創出
- 遊歩道やサイクリングロード等によるネットワーク整備
- 案内表示などサインの充実・統一 など



▲道路軸（国道50号バイパス）

道路軸

現況

「都市の景観骨格軸」として国道50号バイパス、旧国道50号（県道結城下妻線）、県道結城野田線、県道結城坂東線など、幹線道路の沿道には市街地や集落地による景観が形成されています。また新4号国道の沿道には、農地や平地林等が広がっています。

目標

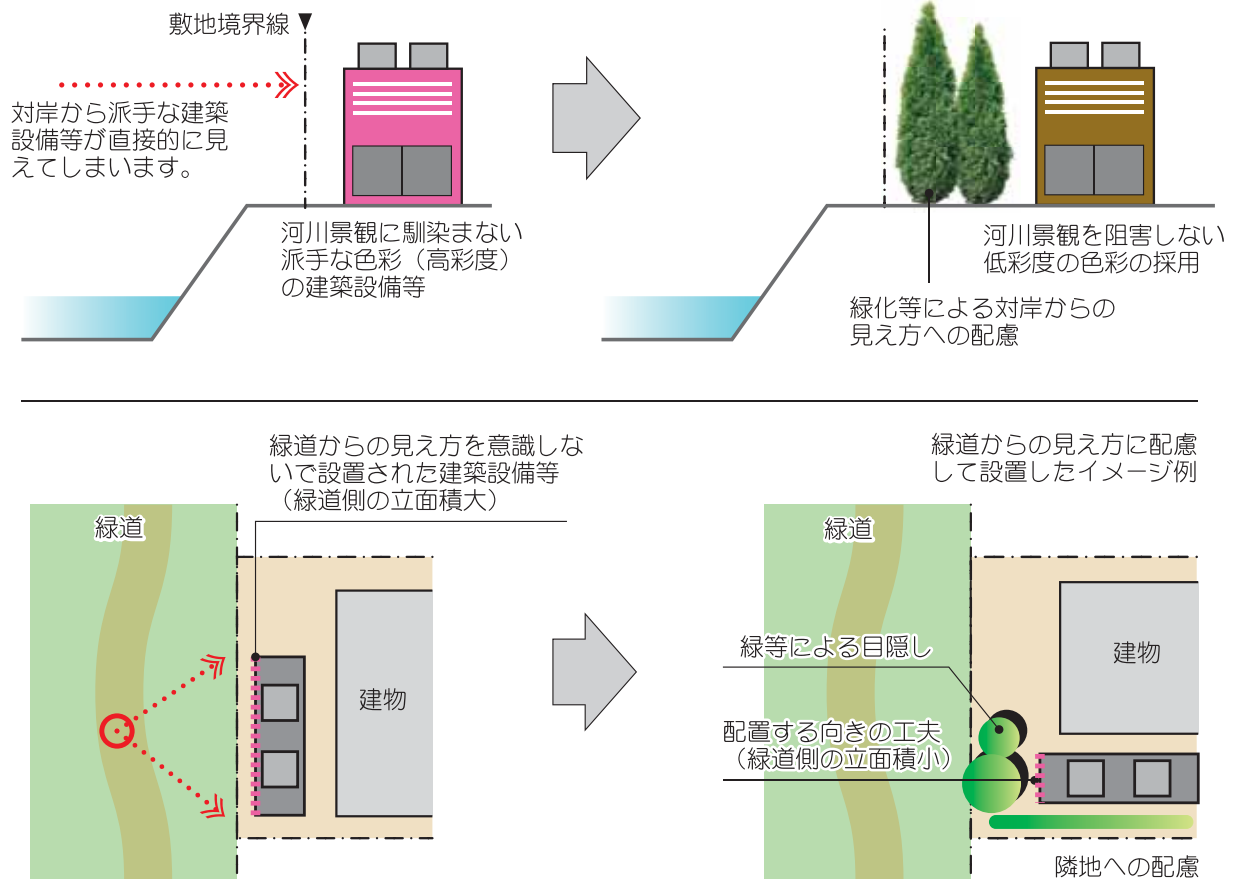
- 街路樹など四季の彩りやうるおいのある沿道景観の形成
- 歩行者空間のゆとりや安全性の確保
- 交差点や橋梁などの結節点の魅力的な景観の創出
- 沿道敷地へのオープンスペースや緑地等の創出
- 広告・看板等の制限・誘導、景観を阻害しているものの整序
- 案内表示などサインの充実・統一 など

建築物

河川軸

■ 河川や緑道に接する敷地に設置する際の工夫【河川景観への配慮】

- 河川や緑道に接する敷地に設置する工作物の配置や形態意匠、色彩については、河川や緑道からの見え方に配慮しましょう。



その他

河川軸

■ 自然護岸や親水空間の創出【貴重な自然資源としての保全・活用】

- 吉田用水は、貴重な自然資源としての保全に努めながら、歩行者路の整備や自然と調和した護岸整備、また、水とふれあえる親水空間の創出に努めます。



▲貴重な自然資源として保全・活用を図っていききたい吉田用水



▲用水を保全しながら親水空間として活用している例

3-3 拠点の景観

JR結城駅周辺や公共施設等の主要な建築物、神社や寺院などは、地域のシンボルや拠点となる景観を形成しています。

特に、結城らしい歴史・文化的な街並みが残る「大町周辺」と「城跡公園周辺」、豊かな自然

景観と田園景観の落ち着いたまちなみがある「山川不動尊周辺」と「結城廃寺周辺」については、景観形成誘導の重点エリアとして位置づけます。

1 大町周辺



▲見世蔵、酒蔵、寺社等が集積しており、落ち着きと風格のある、結城市の歴史と文化を代表する景観形成を図ります。

2 城跡公園周辺



▲城跡公園を活用した、豊富な歴史・文化的資源と自然景観が調和した街並み景観の保全を図ります。

3 山川不動尊周辺



▲あやめ園が隣接し、銀杏などの樹木や縁日など、四季折々の景観が楽しめる拠点となっており、周辺の歴史的資源や、豊かな自然・田園集落を活かした景観形成を図ります。

4 結城廃寺跡周辺

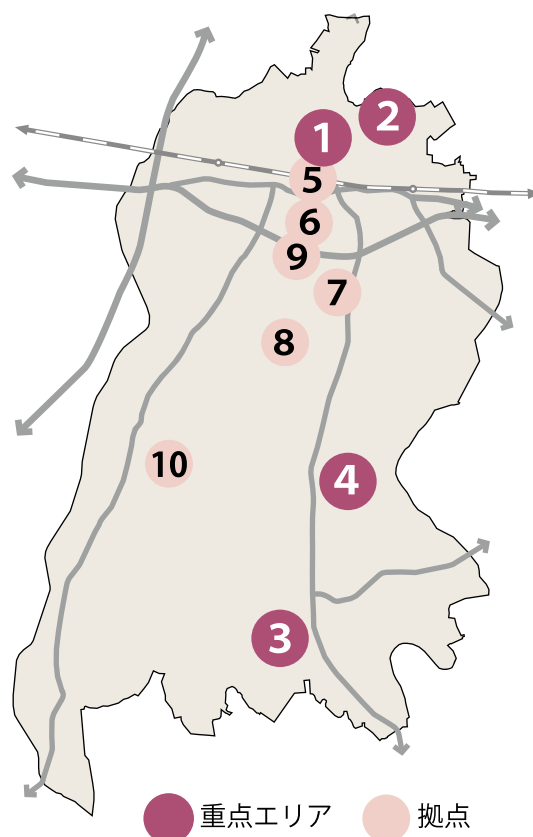


▲結城廃寺跡やうめでら（東持寺）など、周辺の歴史的資源や豊かな自然・田園集落を活かした景観形成を図ります。

5 JR結城駅周辺



◀市の玄関口であり，結城市の顔となる魅力と，にぎわいのある景観形成を図ります。



6 アクロス周辺



◀結城市民文化センターを中心としながら，けやき公園，学校等の公共公益機能が集積しており，交流・にぎわいと落ち着きのある景観形成を図ります。

7 鹿窪運動公園周辺



◀総合体育館や運動場，野球場等の各種スポーツ施設が立地する，個性的で魅力的なシンボル性の高い，緑豊かであるおいのある景観形成を図ります。

8 結城第一工業団地



◀沿道緑化や敷地内緑化の推進など，周辺環境との調和に配慮した快適な工業地景観の形成を図ります。

9 城の内館跡周辺



◀鎌倉時代に結城家初代朝光により創られ，室町時代まで結城家の館があったと考えられる中世の武家屋敷跡として，歴史的資源を活かした拠点的な景観形成を図ります。

10 日本花の会周辺



◀結城農場をはじめとした農地や，平地林等の緑豊かな自然景観の形成を図ります。